

## 7 「むすぶ・やまなし」の実現

# 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	7	「むすぶ・やまなし」の実現
----------	---	---------------

政策	1	県土を形成する骨格道路網の整備	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	10	
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b>                  海のない本県にとって、物流、防災など、高速道路に対する期待は大きいものです。このため、中央自動車道や中部横断自動車道をはじめとする骨格道路を整備するとともに、その効果を最大限に活用できるよう、県土に広域的な道路ネットワークを整備します。</p>					
平成21年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 中部横断自動車道の整備促進		P.146	県土整備部	
	○ 中部横断自動車道関連公共施設の整備		P.146	県土整備部	
	○ 新山梨環状道路の整備		P.146	県土整備部	
	○ 西関東連絡道路の整備推進		P.147	県土整備部	
	○ 地域間を結ぶ国道・県道の整備		P.147	県土整備部	
	○ スマートインターチェンジの整備促進		P.148	県土整備部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			51,332 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			49,050 百万円	
	前年度までの事業費			34,160 百万円	
	本年度の事業費			14,890 百万円	
数値目標の達成状況	数値目標の名称	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	主要渋滞ポイント（全47箇所）のうち解消箇所の割合	42.6% (H18)	55.3% (H22)	51.1% (H21)	66.9

# 主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>1 中部横断自動車道の整備促進</p> <p>【高速道路推進室】</p>	<p>————</p>	<p>中部横断自動車道の早期完成を目指し、関係機関と調整を行うとともに、中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会等を通じて、国や中日本高速道路(株)などの関係機関に対する要望活動を行った。</p> <p>これにより、国の予算が増額となるなど整備促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各期成同盟会等への参画 6 団体</li> <li>・関係機関への要望活動 6 回</li> </ul>
<p>2 中部横断自動車道関連公共施設の整備</p> <p>【道路整備課】</p>	<p>道路橋りょう建設費 ( 1,954,191) 1,044,785 [ 909,406]</p> <p>道路橋りょう整備費 ( 135,292) 83,293 [ 51,999]</p>	<p>中部横断自動車道の整備が円滑に進められるよう、工事用道路やアクセス道路を整備するなど、関連公共施設の整備を推進した。</p> <p>これにより、身延インター関連道路を供用するとともに、交通隘路区間が解消され、沿線地域の利便性の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセス道路整備 市川三郷身延線 (身延 I C 関連、六郷 I C 関連)</li> <li>・バイパス道路整備 国道 300 号波高島バイパス 延長 0.3 km</li> </ul>
<p>3 中部横断自動車道用地の確保</p> <p>【高速道路推進室】</p>	<p>道路橋りょう総務費 ( 110,053) 110,053</p>	<p>中部横断自動車道の整備に協力し、これを促進するため、国や中日本高速道路(株)から用地買収等に関する事務を受託し、用地の確保を進めた。</p> <p>これにより、建設に向けての用地確保が大幅に前進し、工事の計画どおりの実施に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地の確保 買収面積 936,196 m<sup>2</sup> 進捗率 80.1% (平成 22 年 3 月末現在)</li> </ul>
<p>4 新山梨環状道路の整備</p> <p>【道路整備課】 【高速道路推進室】</p>	<p>道路橋りょう総務費 ( 58,000) 58,000</p> <p>道路橋りょう建設費 ( 1,154,196) 976,530 [ 177,666]</p> <p>道路橋りょう整備費 ( 103,518) 74,833 [ 28,685]</p>	<p>甲府市内に集中する交通を分散し、交通渋滞に伴う経済的な損失や環境への負荷を軽減するため、国との連携を図り、都市計画素案の説明会の開催や北部区間のアクセス道路の確保など、新山梨環状道路の整備推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北部、東部区間の環境影響評価の実施、都市計画法手続きの推進</li> <li>・アクセス道路の整備 敷島竜王線 外 1 路線 延長 2.2 km</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
5 西関東連絡道路の整備推進  【道路整備課】 【高速道路推進室】	道路橋りょう建設費 ( 2,575,325) 1,732,766 [ 842,559]  道路橋りょう整備費 ( 27,274) 13,884 [ 13,390]	<p>本県と北関東地域との連絡を強化し、本県経済の発展や観光振興につなげられるよう、西関東連絡道路の万力ランプ（山梨市）以北の建設を推進した。</p> <p>特に、甲府山梨道路Ⅱ期区間については、用地取得率が55%となり、工事着手の準備が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備             <ul style="list-style-type: none"> <li>国道140号三富道路 橋梁上部工 2橋</li> <li>橋梁下部工 1橋</li> </ul> </li> <li>・西関東連絡道路（甲府山梨道路Ⅱ期区間）             <ul style="list-style-type: none"> <li>トンネル詳細設計の実施 平成21年6月</li> <li>橋梁詳細設計の実施 平成22年1月</li> <li>用地補償</li> </ul> </li> </ul>
6 地域間を結ぶ国道・県道の整備  【道路整備課】 【都市計画課】	道路橋りょう総務費 ( 3,168) 3,168  道路橋りょう建設費 ( 8,246,159) 5,593,450 [ 2,652,709]  道路橋りょう整備費 ( 487,042) 264,370 [ 222,672]  街路事業費 ( 1,839,206) 1,035,754 [ 803,452]	<p>県内の各圏域間や主要な拠点間の移動の円滑化を図るとともに、高速道路をはじめとする基幹的な道路に容易にアクセスできるよう、計画的に国道や県道の整備を進め、有機的な道路交通網を形成した。</p> <p>これにより、国道411号上萩原Ⅱ期バイパスにおいて約5分の時間短縮となるなど利便性の向上及び通行車両の安全確保に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹となる国道・県道の整備             <ul style="list-style-type: none"> <li>国道411号上萩原Ⅱ期バイパス 延長1.1km</li> <li>国道411号城東Ⅱ期バイパス 用地補償</li> </ul> </li> <li>・国道139号渋滞対策関連道路の整備             <ul style="list-style-type: none"> <li>渋滞対策連絡協議会の開催 3回</li> </ul> </li> <li>・国道139号バイパスの整備             <ul style="list-style-type: none"> <li>国土交通省との事業調整会議</li> </ul> </li> <li>・主要拠点や高速道路ICへのアクセス道路の整備             <ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画道路滝坂下今井線 延長0.5km</li> <li>都市計画道路南下条穂坂線 延長0.2km</li> </ul> </li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 地域の日常生活を支える道路の整備  【道路整備課】 【道路管理課】	道路橋りょう建設費 ( 4,554,414) 3,071,804 [ 1,482,610]  道路橋りょう整備費 ( 1,248,054) 827,390 [ 420,664]	<p>地域間相互のアクセスを向上するとともに、緊急時には避難路等としても活用できるよう、日常生活で頻繁に利用する道路について、幅員が狭い箇所や危険な箇所等の改良を進めた。</p> <p>これにより、歩道拡幅や道路改良が進展するなど、地域住民の暮らしやすさの向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活を支える国道・県道の整備                韮崎南アルプス中央線 富士吉田西桂線                外 2 路線 2 箇所 延長 7.7 km</li> <li>交差点の改良、歩道の設置、低騒音舗装                国道 140 号 笛吹市石和町井戸地内 延長 0.1 km                甲府市川三郷線 昭和町河東中島地内 延長 0.8 km                甲府山梨線 舞鶴陸橋 延長 0.3 km</li> </ul>
8 富士五湖道路の第二東名接続の促進  【高速道路推進室】	———	<p>東富士五湖道路と第二東海自動車道を結ぶ国道 138 号御殿場バイパス等の早期完成を促進するため、東名・中央連絡道路建設促進期成同盟会等と連携して、国や関係機関等に対する要望活動を行った。</p> <p>また、静岡県、国土交通省甲府河川国道事務所、静岡国道事務所及び沼津河川国道事務所と連絡会を開催し、整備を進めることを促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東名・中央連絡道路建設促進期成同盟会等と連携した要望活動の実施                要望活動 4 回</li> </ul>
9 中央道の 6 車線化及び圏央道の延伸の促進  【高速道路推進室】	———	<p>中央自動車道の上野原インターチェンジから八王子ジャンクションまでの 6 車線化の早期実現や圏央道の延伸を図るため、山梨県高速道路整備促進期成同盟会等を通じて、国や関係機関等に対する要望活動を行った。</p> <p>また、東京都、神奈川県と連絡会を開催し、整備を進めることを促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県高速道路整備促進期成同盟会等を通じた要望活動の実施                要望活動 5 回</li> </ul>
10 スマートインターチェンジの整備促進  【高速道路推進室】	———	<p>中央自動車道へのスマートインターチェンジの整備を促進するため、国や中日本高速道路(株)などの関係機関に対し積極的な要望活動を行った。</p> <p>また、設置を予定している地方自治体と勉強会を開催し、整備を進めることを促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>期成同盟会への参画 4 団体</li> <li>関係機関への要望活動の実施 4 回</li> </ul>

# 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	7	「むすぶ・やまなし」の実現
----------	---	---------------

政策	2	鉄道の利便性向上と地域航空の検討	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	10	
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b>                  周囲を山々に囲まれた本県にとって、地域と地域、人と人を結ぶことは、極めて重要です。このため、鉄道の利便性向上を図るとともに、地域航空についての検討を進めます。また、リニア中央新幹線の実現を視野に入れた取り組みを進めます。</p>					
平成21年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 地域航空庁内検討委員会の開催		P.150	企画県民部	
	○ 中央東線高速化促進広域期成同盟会による国、JR東日本への要望活動		P.150	企画県民部	
	○ 中央線高速化等利便性向上検討委員会による高速化、利便性向上の検討・協議		P.150	企画県民部	
	○ 中央線の利便性向上を図るためのJR東日本への要望活動の実施		P.151	企画県民部	
	○ 山梨リニアファンクラブ会員の募集		P.151	企画県民部	
	○ リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会への支援		P.152	企画県民部	
	○ リニア影響基礎調査の実施		P.152	企画県民部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			1,082 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			654 百万円	
	前年度までの事業費			519 百万円	
	本年度の事業費			135 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	山梨リニアファンクラブ会員数	12,135 人 (H18)	15,000 人 (H22)	15,046 人 (H21)	101.6

# 主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 横田飛行場の民間航空利用に向けた国への要望  【知事政策局】	——	県民や本県を訪れる観光客等の利便性向上につながる横田飛行場の民間航空利用を実現するため、地元である東京都と協調しながら、国に対する働きかけを実施し、実現に向けた継続的な取り組みを促した。 ・国への要望 2回
2 地域航空庁内検討委員会の開催  【リニア交通課】	——	コミューター空港の適地、需要などについて再検討を行うとともに、横田飛行場の軍民共用化が実現した場合の交通アクセス、活用策などについて検討・研究を行うため、地域航空庁内検討委員会を開催した。 これにより、県内空港整備の可能性について、財政的見地、地勢的見地、防災的見地などから検討を行い、地域航空問題の今後の方針を整理した。 ・庁内検討委員会の開催 平成22年1月
3 中央東線高速化の促進  【リニア交通課】	交通安全推進費 ( 200) 200	中央線の高速化に向けた世論を喚起するため、本県をはじめ、長野県や沿線市町村等で構成する「中央東線高速化促進広域期成同盟会」と連携して国やJR東日本等に対する要望活動や普及・啓発活動を実施し、実現に向けた継続的な取り組みを促した。 ・国、JR東日本等への要望活動 平成21年10月 ・普及・啓発活動 平成21年10月、11月
4 「中央線高速化等利便性向上検討委員会」での検討・協議  【リニア交通課】	——	本県をはじめ、東京都、甲府市及びJR東日本で構成する「中央線高速化等利便性向上検討委員会」において、中央線の高速化や利便性の向上などについて検討・協議した。 これにより、新宿発早朝・深夜の特急新設、早朝の通勤特快の新設などの実現への取り組みを促した。 ・高速化、利便性について検討・協議 平成21年10月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
5 パークアンド ライドの推進 【リニア交通課】	交通安全推進費 ( 123) 29	<p>公共交通を活性化し、環境にやさしいパークアンドライドを推進するため、「山梨県パークアンドライド推進協議会」において施策の検討・研究を行った。</p> <p>これにより、公共交通機関の利用促進策について検討するとともに、新聞紙上で広報活動を行い、県民のパークアンドライドに対する理解促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県パークアンドライド推進協議会の開催 平成 22 年 3 月</li> <li>普及・啓発活動の実施 新聞紙面での広報 平成 21 年 11 月</li> </ul>
6 J R 東日本へ の要望活動の 実施 【リニア交通課】	—————	<p>中央線の利便性の向上を図るため、甲府駅午前 6 時台の特急や E 電の甲府駅乗り入れの実現、東京駅を始発終着駅とする特急の増発などについて、J R 東日本に対する要望活動を実施し、実現に向けた継続的な取り組みを促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>J R 東日本への要望活動の実施 平成 21 年 10 月</li> </ul>
7 リニア中央新 幹線の早期実 現 【リニア交通課】	企画総務費 ( 19,280) 19,018	<p>リニア中央新幹線の早期実現に向けて、県民世論の醸成を図るため、普及・啓発活動を行った。</p> <p>これにより、リニア見学センターには 10 万人を越す入館者を集めるとともに、リニアファンクラブの会員数が目標を上回る 15,046 人になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山梨リニアファンクラブ会員の募集 新規会員 601 人増</li> <li>普及・啓発活動の実施 県民の日など</li> <li>県立リニア見学センターの管理運営</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
8 リニア中央新幹線 建設促進山梨県期 成同盟会への支援  【リニア交通課】	企画総務費 ( 6,553) 6,553	<p>リニア中央新幹線の早期実現に向け、リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会が行う要望活動や普及・啓発活動に対して支援し、実現に向けた継続的な取り組みを促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陳情・要望活動の実施 国への要望1回 平成21年6月</li> <li>・広報・啓発活動の実施 甲府駅北口への看板の掲出 平成21年9月～平成22年3月 ラジオCM 平成21年4月～平成22年3月</li> </ul>
9 山梨リニア実験線の早期完成  【リニア交通課】	企画総務費 ( 309,501) 103,536 [ 43,110]	<p>リニア中央新幹線実現の前提となる技術が早期に確立されるよう、(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構から山梨リニア実験線に係る用地事務を受託し、その早期完全取得を目指すとともに、工事に必要な関連道路等の整備に取り組んだ。</p> <p>これにより、関連公共事業も予定通り行われており、実験線の建設が計画通り進捗した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨リニア実験線の用地取得 買収率 100% (平成22年3月末現在) 買収件数 2件</li> <li>・関連公共事業の実施 笛吹市道226号線、512号線</li> </ul>
10 リニアを活用した県土づくりの推進  【リニア交通課】	企画総務費 ( 6,642) 5,943	<p>リニア(中央新幹線)を活用した県土づくりを推進するため、リニア影響基礎調査を実施するとともに、リニア活用推進懇話会で、開通後を見据えた県土全体のグランドデザインの検討を行った。</p> <p>これにより、リニア開業に伴う経済効果や住民等のニーズを把握するとともに、懇話会において幅広い観点からの検討を進め、リニアを活用した県全体の活性化の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リニア影響基礎調査の実施</li> <li>・リニア活用推進懇話会の開催 3回</li> </ul>

## 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	7	「むすぶ・やまなし」の実現
----------	---	---------------

政策	3	情報ネットワークの活用	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	8	
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b>          急激な情報化時代が到来する中、地域間格差の広がりが全国的な課題になっています。このため、高速、大容量のネットワーク時代に向け、ビジネス、観光、遠隔地医療などの情報ネットワーク体制を整備します。また、その構築と維持に必要な人材を育成します。</p>					
平成21年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 地上デジタル放送推進のための山梨県行動計画（改定版）の作成		P.154	企画県民部	
	○ J R中央線トンネル区間における携帯電話の不感解消		P.155	企画県民部	
	○ 山梨県図書館情報ネットワークシステムの運営		P.155	教育委員会	
	○ 土砂災害情報相互通報システムの整備		P.155	県土整備部	
	○ やまなしまなびネットワークシステム学習情報等の提供		P.156	企画県民部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			368百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			210百万円	
	前年度までの事業費			133百万円	
	本年度の事業費			77百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	情報ハイウェイへの接続数	16件 (H18)	55件 (H22)	58件 (H21)	107.7

# 主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 地上デジタル テレビ放送への 対応  【情報政策課】	———	<p>地上デジタルテレビ放送を県内のすべての地域で等しく視聴できるよう、CATV事業者等の取り組みを促進した。</p> <p>これにより、県内のCATV 26 施設については、すべての施設、CATV以外の共聴施設 168 施設のうち、132 施設を平成 22 年度中に地デジ対応が完了するように準備を進めており、地デジ放送における受信環境の整備に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨県地域情報化推進協議会に設置した「地上デジタル放送難視聴地域解消に関する調査研究ワーキンググループ」の開催による情報提供 3回</li> <li>山梨県地域情報化推進協議会において「地上デジタル放送推進のための山梨県行動計画」(改定版)を作成 平成 22 年 3 月</li> <li>・CATV事業者、共聴組合等実態調査の実施 平成 21 年 9 月</li> <li>・ネットワーク基盤整備に対する技術支援の実施</li> </ul>
2 ブロードバンド・ゼロ 地域解消のためのネッ トワーク基盤の活用  【情報政策課】	———	<p>県内のどこでも高速インターネットが利用できるよう、国、県、市町村、事業者の連携を図りながら、情報ハイウェイを活用したネットワーク基盤の整備及び利活用促進について検討した。</p> <p>これにより、平成 21 年度末のブロードバンド整備率は 99%に達し、県民が快適にインターネットを利用できる環境整備に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨県地域情報化推進協議会に設置した「ブロードバンド基盤整備及び利活用促進部会」の開催 1回</li> <li>・市町村職員研修会の開催 1回</li> </ul>
3 携帯電話の不 感地域解消  【情報政策課】	情 報 管 理 費 ( 8,308) 7,514	<p>携帯電話の利用可能地域の拡大のため、国、県、市町村、事業者の連携を図りながら、携帯電話の不感地域の解消を図った。</p> <p>これにより、県内の情報通信環境の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 19 年 9 月に把握した不感地域の 29 地区のうち、27 地区解消</li> <li>・平成 21 年 5 月に総務省調査で把握した不感地域 1 地区を解消</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 JR中央線トンネル区間における携帯電話の不感解消  【情報政策課】	—————	<p>公共交通機関利用時にも移動通信サービスの提供が受けられるよう、JR中央線トンネル区間における携帯電話不感の早期解消に向けた要望活動を実施した。</p> <p>これにより、甲府－高尾間における長さ2,000m以上のトンネルのうち、新小仏、新与瀬トンネルの2ヶ所で携帯電話の不感解消工事が実施され、県内の情報通信環境の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国への要望活動 2回</li> </ul>
5 官民による情報ネットワークの活用促進  【情報政策課】	情報管理費 ( 5,000) 2,861	<p>教育や医療の面での利便性の向上や地域産業の振興を図るため、情報ハイウェイなどの情報ネットワークの利活用について、官民一体となって検討を進めるとともに、情報ハイウェイへの接続を促進した。</p> <p>これにより、情報ハイウェイへの接続数は、合計58件となり、情報ネットワークの活用促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報ハイウェイへの接続数 1件増 工業団地等の情報ハイウェイへの接続数 1件</li> </ul>
6 山梨県図書館情報ネットワークシステムの運営  【社会教育課】	図書館費 ( 9,515) 9,309	<p>県民の生涯学習環境を充実させるために、県内公共図書館等の所蔵資料の書誌データを蓄積した総合目録データベースの拡充を図り、これらの情報をインターネットを通じて提供した。</p> <p>これにより、前年度と比較してアクセス件数が637件増加し、県内図書館利用者の利便性の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークシステムの維持管理</li> <li>・インターネットでの情報提供</li> </ul>
7 土砂災害情報相互通報システムの整備  【砂防課】	砂防地すべり対策費 ( 86,506) 49,294 [ 37,212]	<p>土砂災害が発生する恐れのある地域からの早期避難を促し、人的被害を未然に防止するため、警戒避難情報や危険箇所に関する情報を提供するとともに、県民からも災害関連情報が収集できる通報システムの構築に着手した。</p> <p>また、既存通報システムに地震情報の配信を加えることで、県民が災害に関する情報を得る機会の拡充に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県から県民への情報提供システムの強化</li> <li>・県民から行政機関に通報するシステムの構築</li> <li>・土砂災害情報の県ホームページによる提供</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
8 生涯学習情報の提供  【生涯学習文化課】	社会教育振興費 ( 4,371) 4,096	<p>県民の生涯学習活動を支援するため、インターネットを活用した「やまなしまナビネットワークシステム」により生涯学習に関する情報の提供や学習相談などを行った。</p> <p>これにより、生涯学習に取り組む県民をサポートすることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やまなしまナビネットワークシステム学習情報等の提供</li> </ul> <p>提供件数 12,691 件 アクセス件数 826,063 件</p>

# 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	7	「むすぶ・やまなし」の実現
----------	---	---------------

政策	4	多様な分野における国際交流の推進	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	11	
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b>                  富士山を眺望でき、豊かな自然があふれる本県は、宝飾、ニットなどの高い技術力を有するなど、世界に誇れる魅力の宝庫です。このため、海外との人的・物的交流を活発化し、山梨の魅力を発信することで、国際交流県やまなしの形成に努めます。</p>					
平成21年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ やまなし多文化共生推進協議会の開催		P.158	観 光 部	
	○ 姉妹友好交流の推進		P.158	観 光 部	
	○ 語学指導等を行う外国青年の招致		P.158	総務部・観光部・ 教育委員会	
	○ 海外技術研修員の受け入れ		P.159	観 光 部	
	○ J I C A ボランティアへの参加促進		P.160	観 光 部	
	○ 富士北麓国際交流ゾーン構想の策定		P.160	企 画 県 民 部	
	○ 海外見本市・国際商談会への出展		P.160	商 工 労 働 部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			995 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			711 百万円	
	前年度までの事業費			483 百万円	
	本年度の事業費			228 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	外国人住民支援のための多文化共生施策を実施している市町村の割合	46.4% (H18)	85.7% (H22)	71.4% (H21)	63.6

# 主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 多文化共生の 推進  【国際交流課】	諸 費 ( 185) 109	地域で暮らす外国人に対する生活面での支援体制を 確立し、地域住民との共生を図るため、多文化共生社 会の形成に向けた協議会を開催した。 これにより、関係機関や市町村等が連携し、広域的・ 横断的な課題への対応を図った。 ・やまなし多文化共生推進協議会の開催 2回
2 姉妹友好交流 の推進  【国際交流課】	諸 費 ( 10,504) 7,046	本県と姉妹協定や友好協定を締結した地域との交流 を推進するため、民間交流団体に対して支援するとと もに、職員や留学生の相互派遣を行い、交流関係の強 化と将来を担う人材の育成を図った。 大韓民国忠清北道 職 員 派遣1人、受け入れ1人 留学生 派遣1人、受け入れ1人 アメリカ合衆国アイオワ州 留学生 受け入れ1人
3 語学指導等を 行う外国青年 の招致  【私学文書課】 【国際交流課】 【高校教育課】	諸 費 ( 21,375) 20,348  私学振興費 ( 4,987) 4,670  教育指導費 ( 130,149) 127,158	本県と諸外国との相互理解を増進するとともに、地 域における国際化を促進するため、外国語の指導等 を行う外国人を招致して高等学校等に派遣し、本県中高 生の国際理解及び語学力の向上を図った。 ・国際交流員の学校等への派遣 4人 ・外国語指導助手の派遣 30人 私立学校1人(中学校2校 高等学校5校) 県立学校等29人(高等学校27校 高校教育課 総合教育センター)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 山梨県国際交流協会への支援  【国際交流課】	諸 費 ( 11,940) 11,813	<p>本県における民間国際交流活動を促進するため、(財)山梨県国際交流協会が行う諸外国との相互理解と友好親善を深める取り組みに対して支援した。</p> <p>これにより、地域の国際化に対する県民への啓蒙、青少年の国際感覚の育成、通訳ボランティアガイドのスキルアップが図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(財)山梨県国際交流協会への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>国際観光振興事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>英語・中国語観光通訳ボランティアガイドセミナー 1回</li> </ul> </li> <li>国連思想普及啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>国連講演会「拉致・核・日韓関係の行方」</li> <li>高校生弁論大会</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
5 やまなしグローバルネットワークづくり  【国際交流課】	———	<p>本県にゆかりのある外国人や留学生が、国際交流や観光振興などの分野で本県に貢献できるよう、これらの人材に関するデータベースを充実し、本県から海外への情報発信力の強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外人材データベースへの登録 331人</li> <li>・新規対象者への周知徹底</li> </ul>
6 国際交流センターの運営  【国際交流課】	諸 費 ( 38,889) 38,889	<p>本県の国際交流・国際協力の中核拠点として整備した国際交流センターの管理・運営を指定管理者に委託し、サービスの向上と経費の削減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者への委託 (財)山梨県国際交流協会 <ul style="list-style-type: none"> <li>国際理解講座、災害時ボランティアセミナー等の実施</li> </ul> </li> </ul>
7 海外技術協力の推進  【国際交流課】	諸 費 ( 15,136) 14,446	<p>本県と開発途上国との信頼関係を構築し、その経済発展に貢献できるよう、これらの国々から研修員を受け入れ、知識や技能が修得できる機会を提供した。</p> <p>これにより、中国、ブラジル、ペルー、パラグアイ4カ国の将来の担い手の育成が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外技術研修員等の受け入れ <ul style="list-style-type: none"> <li>ブラジル連邦共和国など4ヶ国から6人</li> </ul> </li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
8 国際協力の推進 【国際交流課】	諸 費 ( 194) 130	<p>青年海外協力隊等のNGO（非政府組織）の国際協力活動について、県民が正しい知識を持てるよう、セミナー等を開催した。</p> <p>これにより、本県からの青年海外協力隊へのボランティア参加の促進が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民のJICAボランティアへの参加促進 8人</li> <li>・NGOセミナー等開催 海外セミナー開催 1回 受講者 35人</li> </ul>
9 海外県人会への支援 【国際交流課】	諸 費 ( 1,560) 1,560	<p>本県と外国との架け橋となる海外県人会の活動を促進するため、これらの県人会が行う本県のPRや日本文化の伝承などの取り組みに対して支援した。</p> <p>これにより、ブラジル、ペルー、メキシコにおける県人会組織の維持・強化と日本文化の紹介などにより、本県の認知度向上が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外県人会への支援 3県人会</li> <li>・「ふれあい」など定期刊行物の送付</li> </ul>
10 富士北麓地域における国際交流ゾーンの検討 【企画課】	企画総務費 ( 3,100) 934	<p>地域の特性を活かした振興を図るため、富士北麓地域の市町村や商工団体等との連携を図りながら、国際交流ゾーンの在り方などについて検討を進めた。</p> <p>これにより、「富士北麓国際交流ゾーン構想」を策定し、当該地域の将来像とその実現に向けた取り組みを示した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士北麓国際交流ゾーン構想策定委員会の開催 4回</li> <li>・富士北麓国際交流ゾーン構想の策定 平成22年3月</li> </ul>
11 貿易の振興 【産業支援課】	商工振興費 ( 1,800) 1,350	<p>中小企業の海外取引を促進するため、関係機関による海外見本市への出展や専門アドバイザーによる企業への情報提供などの取り組みに対して支援した。</p> <p>また、中小企業の海外取引を促進するための専門相談窓口を設けるなど、海外への販路開拓に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門アドバイザー等による相談 37件</li> <li>・海外見本市・国際商談会への出展 計2回</li> </ul>

